

CONTENTS

FISHING POLITICS

漁政

育成就労制度説明会開催、
令和8年度

第1回宮崎県まぐろ部会開催

令和8年度宮崎県浮魚礁利用協議会 第1回委員会

2026年6月末漁業生産統計(属人)

2026年6月漁業生産統計(属人)

2026年6月末の対前年比較属人水揚げ表

MERGER PROPULSION

組織経営

2026年度 第70回漁協職員
連絡協議会 定期総会開催

BUSINESS

業務情報

2026年度 九山G会 鹿児島県開催

FISHERIES CO-OPERATIVE

漁連情報

宮崎大学での協同組合講義

FISHERIES EXPERIMENT

水産試験場

藻場保全活動に資する
モニタリング技術の高度化

—増養殖部—

RELATED ORGANIZATION

関係機関

7月の動き(漁連関係)

令和8年度宮崎県浮魚礁利用協議会 第1回委員会

2026年度 第70回漁協職員連絡協議会 定期総会開催

育成就労制度説明会開催

去る7月6日、水産会館4階研修室において2027年4月よりスタートする「育成就労制度」についての説明会を開催した。

育成就労制度については、現在の「外国人技能実習制度」に代わる制度として外国人材の受入れるための制度であり、宮崎県内においても多くの外国人材が活躍していることから、今後の対応について大日本水産会より「育成就労の概要及び外国人材受け入れの注意点」について説明いただいた。

今後の漁業経営における人材の育成・確保が重要となってくることから、参加した漁協担当者も熱心に質問するなど有意義な説明会となった。

令和8年度第1回宮崎県まぐろ部会開催

去る7月30日、水産会館5階研修室において令和8年度第1回宮崎県まぐろ部会を開催した。県内近海まぐろ漁業関係者が出席、海船協事務局、全日海、全近かつ協を迎えマルシップ制度運用に関する遵守事項等について説明いただいたのち、制度に関する設問等に答え、より制度を理解してもらう取り組みとなった。併せてくろまぐろ資源管理に関する国際会議の結果説明等を行い終了した。

宮崎県漁業就業支援フェア2026 「初」開催

開催日：令和8年10月10日（土）13:00～16:00
場 所：宮崎県庁5号館
 ※宮崎駅から徒歩約15分（駐車場あり）
 ※服装自由、事前申込不要

宮崎県のような漁業者、漁業会社、漁協が参加し、漁業のリアルな話を聞くことができるイベントを初開催！貴重な機会なので是非参加下さい！

情報は活性化機構ホームページで随時更新！
 ※「宮崎県漁村活性化」で検索

【問い合わせ先】 宮崎県庁水産政策課（担当：田牧・宮原） 0985-26-7167
 （公社）宮崎県漁村活性化推進機構（担当：福岡・富山） 0985-75-0022

令和 8 年度宮崎県浮魚礁利用協議会

第 1 回委員会

2026年7月23日（木）に宮崎県水産会館4階第1研修室において、令和8年度宮崎県浮魚礁利用協議会第1回委員会を開催した。

委員会は、下記について協議を行った。

協議内容は以下の通り。

協議事項

第1号議案	2025年度収支決算書について
第2号議案	役員改選（案）について
第3号議案	宮崎県浮魚礁利用協議会県南部会より協議要請を受けた、宮崎海区漁業調整委員会が定めた「浮魚礁利用に関する承認方針」に係る「かつお一本釣り漁業」の操業ルールの変更について
第4号議案	うみさち浮魚礁（6号）への入漁許可に関する要望について



2026 年 6 月末漁業生産統計（属人）

上段 数量：トン 下段 金額：千円

漁業種類 名 漁協名	かつお 一本釣	まぐろ はえ縄	まき網	ひき縄	底びき 網	船びき 網	定置	養殖	その他	合計
北浦			25,102 2,349,207		39 30,391		330 176,192	0 886	10 17,444	25,481 2,574,121
島浦町		202 228,450	910 83,675	9 5,754			180 92,710	288 331,217	5 3,769	1,595 745,576
延岡				9 6,311	7 3,775	33 10,670			21 17,909	70 38,665
延岡市	96 49,644			1 416	9 4,521	28 11,835	453 212,088	1 884	16 14,151	603 293,538
庵川	98 49,120	285 284,177		0 82	33 15,330	0 0	114 66,870	62 43,614	13 11,226	605 470,419
門川		40 41,378		1 833	18 7,512	19 7,788			11 15,562	88 73,072
日向市	216 123,547	1,689 1,850,247		5 2,835		2 5,551	317 122,093	16 17,828	13 21,221	2,259 2,143,323
都農町		191 176,912		4 3,489					8 7,167	204 187,567
川南町		1,337 1,459,900		93 57,841	0 249				42 38,217	1,472 1,556,207
一ツ瀬				5 5,214	8 4,308				19 16,623	32 26,145
憶浜				4 7,689					11 14,030	15 21,719
宮崎		259 229,341				63 16,628			25 29,185	347 275,154
宮崎市		66 69,431	899 94,937	20 13,914	1 280	8 1,422	93 59,221		11 9,101	1,098 248,305
日南市	892 474,933	826 655,702		46 36,965			47 35,424		36 39,297	1,848 1,242,322
南郷	4,632 1,885,536	536 265,864		31 30,084			595 227,625		29 36,682	5,823 2,445,791
外浦	1,305 521,013	145 63,668					117 76,002		2 3,393	1,568 664,075
串間市東		44 49,059		15 16,974			720 265,399		53 38,397	833 369,830
串間市				8 10,268	2 1,915	5 14,100	3 1,111	5,282 3,308,261	701 487,788	6,001 3,823,442
合計数量	7,239	5,621	26,911	253	116	159	2,970	5,650	1,025	49,944
〃 金額 （魚価）	3,103,793 429	5,374,128 956	2,527,819 94	198,667 784	68,281 588	67,995 428	1,334,735 449	3,702,690 655	821,164 801	17,199,272 344
前年数量	8,929	5,085	19,578	265	131	242	2,267	4,757	390	41,642
〃 金額 （魚価）	3,969,465 445	4,945,207 973	1,476,975 75	187,153 706	71,892 550	172,783 715	1,063,138 469	3,168,968 666	430,984 1,105	15,486,565 372
数量増減	-1,690	536	7,334	-12	-14	-83	703	892	635	8,302
〃 対比 （%）	-18.9	10.5	37.5	-4.3	-11.1	-34.2	31.0	18.8	162.8	19.9
金額増減	-865,672	428,922	1,050,844	11,514	-3,611	104,789	271,598	533,722	390,180	1,712,708
〃 対比 （%）	-21.8	8.7	71.1	6.2	-5.0	-60.6	25.5	16.8	90.5	11.1
魚価増減	-16	-16	18	78	37	-287	-20	-11	-304	-28
〃 対比 （%）	-3.6	-1.7	24.5	11.0	6.8	-40.2	-4.2	-1.6	-27.5	-7.4

端数処理の関係で下一桁が合わない場合があります。

2026 年 6 月 漁業生産統計（属人）

上段 数量：トン 下段 金額：千円

漁業種類名 漁協名	かつお 一本釣	まぐろ はえ縄	まき網	ひき縄	底びき 網	船びき 網	定置	養殖	その他	合計
北浦			5,711 424,305		0 30		36 21,746	0 423	1 1,685	5,748 448,190
島浦町		29 37,996	237 17,953	0 6			34 17,416	47 56,868	2 1,783	348 132,023
延岡				5 3,805	0 7				2 844	6 4,655
延岡市	21 11,370			0 149	0 66		28 10,278		2 1,359	52 23,223
庵川	15 10,644	28 36,211			5 1,972		15 7,743	1 826	1 1,162	65 58,558
門川		4 4,062		0 23	3 1,152				1 542	8 5,779
日向市	35 22,955	215 252,373		1 563			31 11,261	1 739	2 1,606	284 289,496
都農町		19 22,489		0 484					1 869	20 23,842
川南町		160 196,118		11 9,586					4 3,581	175 209,285
一ツ瀬				1 1,580	2 890				3 2,066	6 4,536
櫛浜				1 1,701					1 1,202	1 2,903
宮崎		45 33,368				1 291			1 779	46 34,438
宮崎市		5 9,917		2 1,945	0 16	0 47	4 2,135		0 669	12 14,729
日南市	189 101,125	94 66,892		5 4,928			2 2,132		2 1,769	293 176,845
南郷	1,943 692,091	80 37,765		1 1,202			2 816		1 1,703	2,028 733,577
外浦	563 200,978	31 11,280					17 14,579		0 284	611 227,121
串間市東		5 7,268		0 224			58 16,368		6 5,610	70 29,471
串間市				2 3,376			1 77	473 373,594	1 1,721	477 378,768
合計数量	2,767	715	5,948	30	10	1	228	522	31	10,251
〃 金額 (魚価)	1,039,162 376	715,738 1,001	442,258 74	29,572 996	4,133 396	338 240	104,552 459	432,449 828	29,236 957	2,797,439 273
前年数量	5,042	949	3,682	34	14	2	357	455	56	10,592
〃 金額 (魚価)	2,066,087 410	805,342 848	214,219 58	24,375 716	5,553 386	8,316 4,123	120,909 339	386,063 848	74,447 1,333	3,705,310 350
数量増減	-2,275	-235	2,265	-4	-4	-1	-129	67	-25	-341
〃 対比 (%)	-45.1	-24.7	61.5	-12.8	-27.5	-30.1	-36.1	14.7	-45.3	-3.2
金額増減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
〃 対比 (%)	1,026,924 -49.7	-89,604 -11.1	228,038 106.5	5,198 21.3	-1,420 -25.6	-7,978 -95.9	-16,357 -13.5	46,386 12.0	-45,211 -60.7	-907,872 -24.5
魚価増減	-34	153	16	281	10	-3,883	120	-20	-375	-77
〃 対比 (%)	-8.3	18.0	27.8	39.2	2.6	-94.2	35.3	-2.3	-28.2	-22.0

端数処理の関係で下一桁が合わない場合があります。

2026 年 6 月末の対前年比較属人水揚げ表

区分 漁協名	6 月末累計			前年同月末との比較					
				昨年同月累計			増減		魚価 対比
	数量	金額	魚価	数量	金額	魚価	数量	金額	
	t	千円	円/kg	t	千円	円/kg	t	千円	%
北浦	25,481	2,574,121	101	18,052	1,518,261	84	7,429	1,055,859	20.1
島浦町	1,595	745,576	467	1,787	683,204	382	-192	62,372	22.3
延岡	70	38,665	549	187	124,545	667	-116	-85,879	-17.7
延岡市	603	293,538	487	510	251,080	492	93	42,459	-1.1
庵川	605	470,419	778	550	393,610	716	55	76,809	8.6
門川	88	73,072	829	77	67,963	887	12	5,109	-6.6
日向市	2,259	2,143,323	949	2,088	1,910,941	915	172	232,382	3.6
都農町	204	187,567	919	188	171,944	915	16	15,623	0.4
川南町	1,472	1,556,207	1,057	1,369	1,478,162	1,080	104	78,045	-2.1
一ツ瀬	32	26,145	817	29	22,084	773	3	4,061	5.7
憶浜	15	21,719	1,462	15	17,183	1,163	0	4,536	25.7
宮崎	347	275,154	793	255	214,015	838	92	61,139	-5.4
宮崎市	1,098	248,305	226	895	229,398	256	203	18,908	-11.7
日南市	1,848	1,242,322	672	1,794	1,165,938	650	54	76,384	3.4
南郷	5,823	2,445,791	420	7,092	3,266,811	461	-1,268	-821,019	-8.8
外浦	1,568	664,075	423	1,716	778,828	454	-148	-114,753	-6.7
串間市東	833	369,830	444	614	333,918	544	219	35,912	-18.4
串間市	6,001	3,823,442	637	4,427	2,858,681	646	1,574	964,761	-1.3
合計	49,944	17,199,272	344	41,642	15,486,565	372	8,302	1,712,708	-7.4

端数処理の関係で、下一桁が合わない部分があります。

2026年度

第70回漁協職員連絡協議会 定期総会開催

2026年7月3日（金）、宮崎県水産会館5階大研修室において、2026年度「第70回漁協職員連絡協議会」が開催された。

本協議会は、宮崎県漁連指導部組織経営課を事務局として、宮崎県下漁協系統職員相互の親睦、福利、厚生、研修等を行ない、もって漁協系統職員の緊密なる連絡協調を図り、漁村振興と漁村民主化を図るとともに、漁協運動の進展に寄与することを目的としている。

今年度の総会には24会員中、本人出席14会員、委任状出席10会員となり、本年度も県北、県央、県南の3ブロックに分かれ、職員交流の場としてボーリングを開催予定とすることなどが承認決定された。

また、総会終了後には、宮崎県総務部危機管理局危機管理課の方を講師にお招きし、「南海トラフ地震と災害への備えについて」という内容で研修を行った。



2026年度 九山G会 鹿児島県開催

2026年7月23日（木）、鹿児島県漁業協同組合連合会「市場食堂」2階において、2026年度「九山G会」が開催されました。

九山G会は、JF全漁連を事務局として、山口県から沖縄県までの各県漁連・漁協において購買事業を担当する職員が一堂に会し、情報交換や意見交換を行う会議で、毎年各県持ち回りで開催されています。昨年度は宮崎県で開催され、今年度は鹿児島県が開催県となりました。

当日は、各県の担当者から、前年度の購買事業実績や本年度の事業計画をはじめ、各地域における漁業の現状や抱えている課題等について報告が行われました。また、それぞれの地域における取組や課題について活発な意見交換が行われ、今後の購買事業のあり方について認識を共有しました。

会議の冒頭には、開催県を代表して鹿児島県漁連の宮内専務理事より挨拶があり、参加者を歓迎するとともに、会議の有意義な開催を祈念しました。会議終了後には懇親会も開催され、各県担当者同士が親睦を深めるとともに、日頃の業務や各地域の漁業情勢について情報交換を行いました。

近年、漁業者の減少や高齢化をはじめ、燃油・漁業資材価格の高騰など、各県が抱える課題は年々多様化・深刻化しており、これらは各県漁連・漁協に共通する重要な課題となっています。

今後、漁業者が安心して漁業を営むことができる環境を維持するためにも、燃油・漁業資材の安定供給と価格抑制に努めるとともに、JF全漁連をはじめ、各県漁連・漁協との連携をより一層強化していくことが重要です。

今回の九山G会で得られた各県の情報や意見を今後の事業運営に活かし、関係機関との連携を深めながら、漁業者の皆様の負託に応えられる購買事業の推進に努めてまいります。

なお、2027年度の九山G会は、熊本県での開催を予定しています。



宮崎大学での協同組合講義

漁連は去る7月9日（木）において、2026年度協同組合協議会の活動の一環として、宮崎大学植物生産環境科学科山本教授の講義の1コマを頂き、協同組合講座及び事業内容等の説明を行った。

【7月9日（木）】

パワーポイント等の資料を活用しながら、事業内容等の説明を行った。

受講した学生は32名となり、水産業について学ぶ機会はほとんどなかったので非常に良い機会であった、JFの事業は様々な面から漁業者のために行っていることが興味深かった等の感想を頂いた。



藻場保全活動に資するモニタリング技術の高度化

— 増養殖部 —

1 はじめに

藻場とは、沿岸の浅海域において海藻や海草が繁茂している場所や、それらの群落のことを指します。藻場は、構成する海藻の種類により、主にコンブ場やアラメ・カジメ場、アマモ場などに区分けされており、魚介類の産卵場や稚仔魚の保育場、餌料供給の場といった、「生物のゆりかご」と呼ばれる生態系にとって重要な機能を持っています（図1、2）。また、近年では二酸化炭素を吸収し、酸素を放出する「ブルーカーボン」としての機能が注目されており、環境保全の面でも重要視されています。

このように重要な役割を持った藻場ですが、1990年代、全国で大規模かつ急激な藻場の衰退が確認され、本県でも全体で66%減少したと言われています。原因としては、地球温暖化による海水温の上昇により、生育できる海藻種が減少したことによる藻場の消失や、海藻を食べるウニ類や植食性魚類（アイゴ、イスズミ、ブダイ等）が冬季においても活発に摂餌を行うようになった結果、藻場の回復が追いつかなくなっていることが挙げられます（図3）。このような状況を受け、各浜の漁業者がそれぞれ藻場保全活動組織を立ち上げ、漁業者が主体となって藻場の保全・回復に向けた取組を実施してきました。取組の内容は、海藻を食べるウニ類や植食性魚類（アイゴ、イスズミ、ブダイ等）の密度管理がメインとなります。特に、ウニ類の密度管理においては、県の指標（1㎡当たりのウニ類の目安密度）に基づき、各活動組織が取り組んだ結果、一部の藻場では再生の傾向がみられるなど、成功例もできました。

これらの取り組みの効果を検証し、効果的かつ効率的なものにするには、様々な施策の前後の状態を把握するモニタリング調査が重要となります。今回は、本試験場が行っているモニタリング調査の内容と、ドローンを活用したモニタリング調査の高度化について紹介します。



図1 ホンダワラ藻場とメジナ稚魚



図2 アマモに産み付けられたアオリイカの卵



図3 魚の食害を受けたクロメ藻場

2 水産試験場の藻場モニタリング調査

水産試験場では、県が設置した藻場礁や、県内の主要な藻場について、年1回以上のモニタリング調査を行っています。藻場の構成種や藻場の面積、藻場の被度を測定しています。今回は、空中ドローンを使用した藻場面積の測定と、水中ドローンを使用した藻場構成種の特定、被度測定について紹介します。

(1) 空中ドローンによる藻場面積測定

従来の藻場面積調査は、潜水して藻場の縁辺を泳ぎながら位置情報を記録し、面積を測定していました。課題としては、見えている範囲の外にある小さな藻場を見落とししてしまう可能性や藻場の内部に空白地帯があっても把握ができないこと、調査に時間がかかるため、長時間の潜水が必要なことがありました。これらの課題解決のため、ドローンに着目しました。

ドローンを使用して上空から海域を撮影し、その写真を結合して海域のオルソ画像（航空写真の合成時にできるゆがみを補正した画像）を作成、海藻が生えている部分を測定することで、藻場面積の測定が可能となりました。

これにより、従来の調査では見落としの可能性があった小型藻場や藻場内部の空白地帯を把握できたほか、調査場所によりますが、潜水では2時間ほどかかっていた調査時間を約15分に短縮できました。



図4 空中ドローンによる藻場面積調査の高度化

(2) 水中ドローンによる藻場の構成種の特定及び被度の測定

藻場の構成種の特定及び被度の調査については、従来専門のダイバーとともに潜水での調査を行ってきました。課題としては、面積調査と同じく長時間の潜水調査が必要なことや、特に被度については目視による分析で行われるため調査する人によって値が変わってしまう恐れがありました。

そこで、水中ドローンを使用して、藻場の構成種の特定と被度の測定を試みました。水中ドローンを使用して葉や茎、気泡、付着器の形態を観察することで、藻場の構成種を特定することができました（図5～7）。また、水中ドローンで撮影した海底の画像を分析することで、被度の測定を行うことができました（図8～10）。分析の際は、ImageJ（画像分析ソフト）を用いた画像分析を行うことで分析の精度を向上させることができました。これにより、調査時間を大幅に短縮できたほか、複数回繰り返し分析を行うことで被度を高い精度で測定することができました。



図5 串間市一里崎のヒイラギモクとツクシモク



図6 延岡市安井のクロメ



図7 延岡市北浦のマメタワラ



図8 串間市一里崎の海底画像



図9 図8をImageJで処理した画像

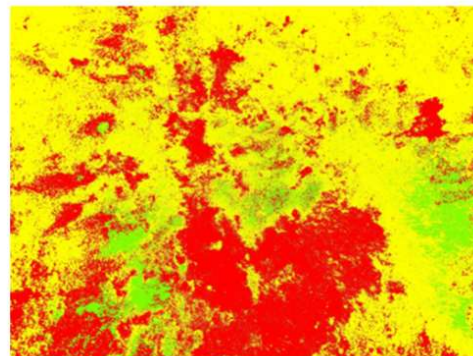


図10 被度分析結果（緑、黄が海藻、赤底）

3 今後の展望

これらの成果により、潜水を行わずに藻場調査を行うことが可能となりました。近年注目されているブルーカーボンクレジットの活用を目指し、水中ドローンでの被度調査と空中ドローンによる藻場面積調査を組み合わせた、藻場全体の面積・被度分析を行うことを目的に、継続調査やQGIS（画像測定等解析ソフト）などを用いた画像分析に取り組むたいと考えています。

今後も、藻場の維持再生やそれに連なる活動の支援のため、研究開発に取り組んでいきます。

7月の動き（漁連関係）

3 日	2 0 2 6 年度第 7 0 回宮崎県漁協職員連絡協議会定期総会
6 日	育成就労制度説明会
9 日	宮崎大学協同組合講座
2 3 日	令和 8 年度宮崎県浮魚礁利用協議会第 1 回委員会
3 0 日	令和 8 年度第 1 回宮崎県まぐろ部会